

## ボランティア休暇、 不妊治療のための休暇



人事総務部 労政グループ  
主査

大阪製作所 人事総務グループ

高岡 慎一郎 さん(左) 藤九 秀規 さん(右)

### 企業プロフィール

- 事業内容：自動車関連事業、情報通信関連事業、エレクトロニクス関連事業、環境エネルギー関連事業、産業素材関連事業
- 従業員数：4,382名(単体) 232,936名(連結)  
(2014年6月30日現在)
- 年次有給休暇の取得率：52.5%
- 年間休日数：123日
- URL：<http://www.sei.co.jp/>

## 積立休暇に名前をつけて 取得しやすい雰囲気

### 実践！

こうすればできる！  
こうすればのびる！

- ① 年次有給休暇の未消化分を積立休暇にする
- ② 年次有給休暇の内容に名前をつける
- ③ ハンドブックや社内HPで周知する

### 積立休暇から取る「ボランティア休暇」

当社には、取得せずに失効する年次有給休暇を、年10日を限度として上限50日まで積み立てることができる「積立休暇」があります。これは本人の病気療養、育児、家族の看護のほか、就業規則に定められた事由に該当した場合に取得することができます。

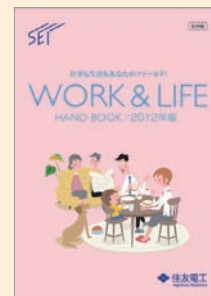
「ボランティア休暇」も積立休暇から使える制度の一つで、会社が認めたボランティア活動を行う場合に、年間10日を限度に取得できます。ここ数年は、活用事例の坂下さんのように、野球やサッカー、陸上などの地域の少年スポーツの指導や合宿・試合の引率などのボランティア活動のために取得する人もいます。

### 通院に利用できる「不妊治療のための休暇」

当社ではダイバーシティ推進に取り組んでおり、女性社員も生き生きと働き続けられるような環境作りに取り組んできました。例えば、休暇制度の中では「不妊治療の

ための休暇」がありますが、これは積立休暇から使える休暇の一つで、不妊治療を目的とする通院が必要な場合に取得できます。仕事と生活の両立を支援するための、休暇をはじめとした社内制度については、社員に配布している「ワーク&ライフハンドブック」や社内HPなどを通じて周知しています。

- 仕事と生活の両立を支援する制度を紹介する「ワーク&ライフハンドブック」



### 年次有給休暇を取りやすい雰囲気

当社組合員の年次有給休暇取得日数の平均は、2013年度で10.4日です。ここ数年は業務が忙しくなっており、平均取得日数は増えたり減ったりといったところで、年次有給休暇制度の充実と取得日数の相関関係はなかなか見えにくいものがあります。しかし、当社では継続的に取り組むことが重要と考えており、たとえば、年次有給休

暇の取得促進策として、休暇に名前をつけることで、“取りやすいと思える雰囲気づくり”にも取り組んでいます。具体的には「アニバーサリー休暇」「ライフサポート休暇」「ポジティブ・オフ休暇」などです。

「アニバーサリー休暇」は年次有給休暇のうち、年に2日間を個人の任意の記念日として取得するもの。「ライフサポート休暇」は勤続5、15、25、35年の社員がもつ年次有給休暇のなかで、年間最大5日間の連続休暇を取得できるというもので、それぞれ2006年、2008年に導入しました。

「ポジティブ・オフ休暇」は年次有給休暇のうち、年に1日を取得するもので、健康増進や趣味、自己啓発など、仕事以外の分野で充実した時間を過ごすことで仕事へのモチベーションと集中力を高め、より充実したものにするとするねらいで、2014年に導入しました。

これらの制度導入の効果もあり、毎年行われる社員の意識調査では「年次有給休暇の申請がしやすい」と答えた社員が、ここ数年増加傾向にあるという結果になっています。今後も年次有給休暇の取得が増えることを期待しています。



## 制度活用事例

### 「ボランティア休暇」で地域スポーツを支援 (坂下さん)

小学生の息子が所属する少年野球チームが全国大会に出場することが決まり、同行するためにボランティア休暇を取りました。2013年の夏のことです。当時チームの保護者会長をしていた私は、東京で行われる全国大会に、保護者20名ほどの引率も行うことになっていたのです。

2年ほど前、同じ職場の後輩がやはり少年野球チームの監督を務めていて、その活動にボランティア休暇を使っているということを知り、この休暇があることを知りました。それなら私も使おうと上司に相談しました。申請には“ボランティアである”という確証が必要なため、休暇届に全国大会の日程表と、私が保護者会の会長であることがわかるチームの組織表も添えて申請。単なる父母としてではなく、地域のスポーツ活動をボランティアで支援するというので、申請した3日間の休暇を取ることができました。全国大会では宿敵チームに勝って、見事日本一になることができたので最高にうれしかったですね。

後輩の話を知るまで、私もボランティア休暇についてはあまりよく知りませんでしたし、それまでは年次有給休暇を使っていました。野球で年次有給休暇がなくなるのを不安に感じていましたので、この休暇が使えてよかったと思います。

翌年息子は中学生になり、選抜されて日本代表チーム

のメンバーとして、アメリカで試合をすることになりました。ちょうど勤続30年目の「リフレッシュ休暇（入社10年目、20年目、30年目の社員に付与される連続5日間の休暇）」があり、これで5日間、会社全体の5日間の夏休みと土日を加えて計2週間の休みを取れました。日本代表チームは準決勝戦で破れたものの素晴らしい試合でした。勤続30年という私の節目の年に、息子から大きなプレゼントをもらい感無量でした。

私の活動を部署の同僚も上司もよく知っているの、2回とも快く送り出してくれました。仕事上の不安はなく、おかげで有意義な休暇になりました。

### (西原さん)

有給休暇を利用して、スポーツに関わるボランティア活動に力を入れるのはとてもいいことだと思います。日頃から坂下さんが少年野球チームの保護者として、自分の子どもだけでなく、多くの子どもたちのために頑張っている姿を、部署内でも応援していました。休暇前に、みんなで「がんばってこいよ」と送り出しました。



株式会社ジェイ・パワーシステムズ  
(住友電気工業より出向)  
大阪ケーブル部製造課  
シニアスタッフ

**西原 秀久** さん(左)

株式会社ジェイ・パワーシステムズ  
(住友電気工業より出向)  
大阪ケーブル部製造課 OC掛

**坂下 猛彦** さん(右)